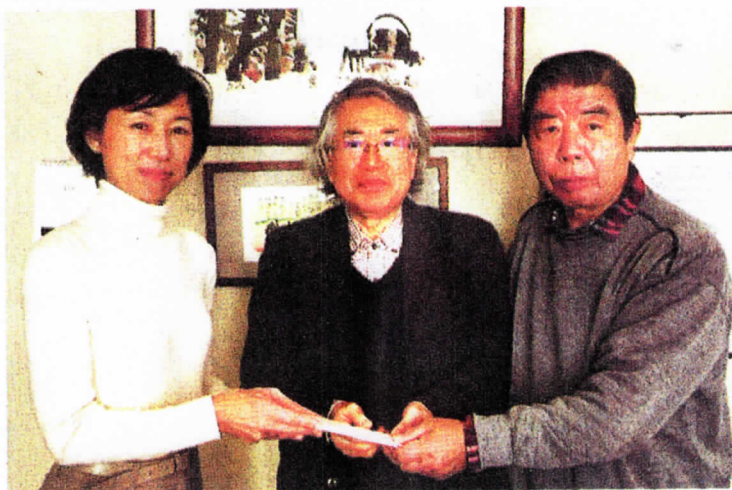


ライドン氏が義援金 6000ドル

南房総を訪問している大学教授

文化遺産フォーラムにも義援金



義援金を届けた溝口さん(左)=館山

米国モントレール地区市民を中心としたグループを引率し、数度にわたり南房総地区を訪問しているカプリオ

大学名誉教授、サンディ・ライドン氏が、台風15号、19号の義援金を安房地域に寄付した。館山市のNPO法人安房文化遺産フォーラムには12日、100

ドル(日本円で10万6000円)が手渡された。

ライドン氏は太平洋戦争の歴史に大変関心があり、同フォーラムの愛沢伸雄氏とも親交があり、同フォーラム主催の戦跡ツアーにも毎回参加している。

南房総地域が甚大な被害にあったと聞き、過去に同地域を訪れたことのある人を中心に呼び掛け、義援金が寄せられた。先月末で合計6000ドルが集まり、先日、日本へ送金されてきた。

館山市と南房総市に約25万円、安房文化遺産フォーラムには10万円寄付することになり、すでに館山市には届けている。

同フォーラムには、代理の溝口かおりさんが訪問。10万6000円を手渡した。愛沢代表は「温かい志に心から感謝します。台風被害からの復興と、モン

トレールとの交流の歴史のさらなる発掘、記録に役立てたい」と謝意を述べた。

南房総市には、18日に寄付する予定。